

情報発信拠点

GALERIO YOKOHAMA



GALERIO について

GALERIO(ガレリオ)は2020年、横浜市都市ソリューションの海外発信を一層加速していくための拠点として、Y-PORT センター公民連携オフィス内に誕生しました。通信機能やVRコンテンツを備えたGALERIOで、国内外の関係者との国際会議やワークショップ等を開催します。GALERIOの名は、それぞれの言語や文化の橋渡しの役目を果たすことを目的として公安されたエスペラント語から採用しており、英語でGalleryを意味します。「横浜のまちづくり・都市開発に関する情報をまとめてみることができ、国内外の関係者が気軽に集える場」になることを期待し、その名が付けられました。

GALERIO における活動の考え方



Y-PORT センターについて

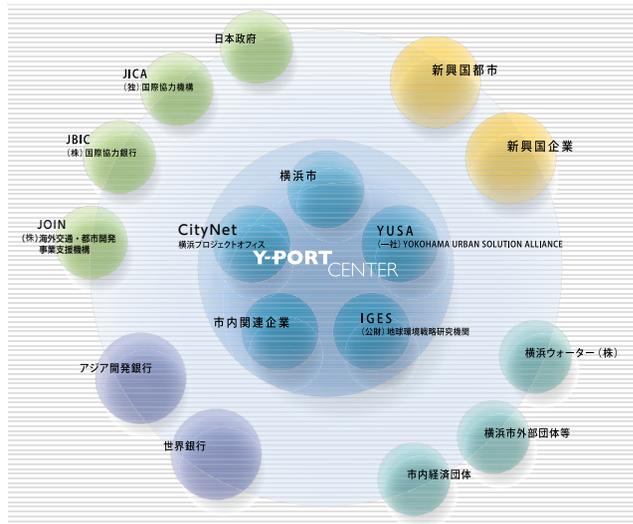
GALERIO が位置する Y-PORT センターは、その機能として「市内企業の技術の新興国都市への紹介」や「Yokohama ブランドの価値向上とその活用による国際的ネットワークの構築」を掲げています。

市内企業の技術の新興国都市への紹介という点では、市内企業の有する技術の紹介、Y-PORT ワークショップ、現地ワークショップ等でのマッチング機会の創出、企業との共同によるインフラソリューションの発信などに取り組んでいます。また、Yokohama ブランドの価値向上とその活用による国際的ネットワークの構築という点では、アジア・スマートシティ会議等を活用した国際社会への発信、積極的な情報発信、国際的な受賞等による「横浜」の知名度向上およびブランド力強化、アジア・スマートシティ・アライアンスを通じた継続的な都市間連携などに取り組んでいます。

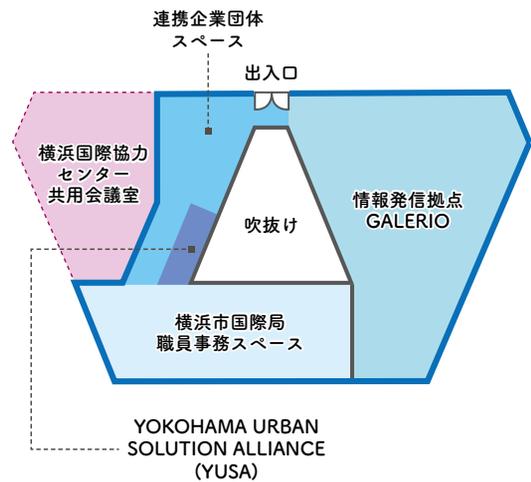


Y-PORT センター 公民連携オフィス

Y-PORT センターは、2015年に発足した公民連携による国際技術協力（Y-PORT 事業）を実施するプラットフォームです。多様な関係者と連携しながら、新たな事業スキームを確立し、新興国の都市課題の解決と、市内企業のビジネス機会の創出を目指しています。2017年からは、公民連携による共同オフィス（Y-PORT センター 公民連携オフィス）の設置など Y-PORT センターの機能強化を進めています。



Y-PORT センター



Y-PORT センター 公民連携オフィス



1. 新興国での制度づくりを通じた環境技術のマーケット形成

- ・ JICA・アジア開発銀行・世界銀行等国際援助機関との連携による新興国都市のマスタープラン策定支援
- ・ 本市の都市づくりの経験を生かした、新興国都市での適正な規制づくり支援
- ・ 新興国都市のマスタープラン策定支援による上流からのスペックイン



2. 新興国都市・企業との共創による都市ソリューションの創出

- ・ F/S（実現可能性調査）、実証事業等を通じた事業スキームのブラッシュアップ
- ・ パッケージ型都市ソリューションの開発
- ・ 多様な関係機関との「共創」による「Best Available Solution（適正技術）」の提案



3. 新興国都市ニーズの把握と企業への情報提供

- ・ 市内企業に対して、現地都市ニーズに関する情報を提供
- ・ 現地合同調査等現地ニーズを把握する場の提供
- ・ Y-PORT ワークショップ、現地ワークショップ等でのマッチング機会の創出



4. 市内企業の技術を新興国都市へ紹介

- ・ 市内企業の有する技術を紹介
- ・ Y-PORT ワークショップ、現地ワークショップ等でのマッチング機会の創出
- ・ 企業と共同でインフラソリューションの発信



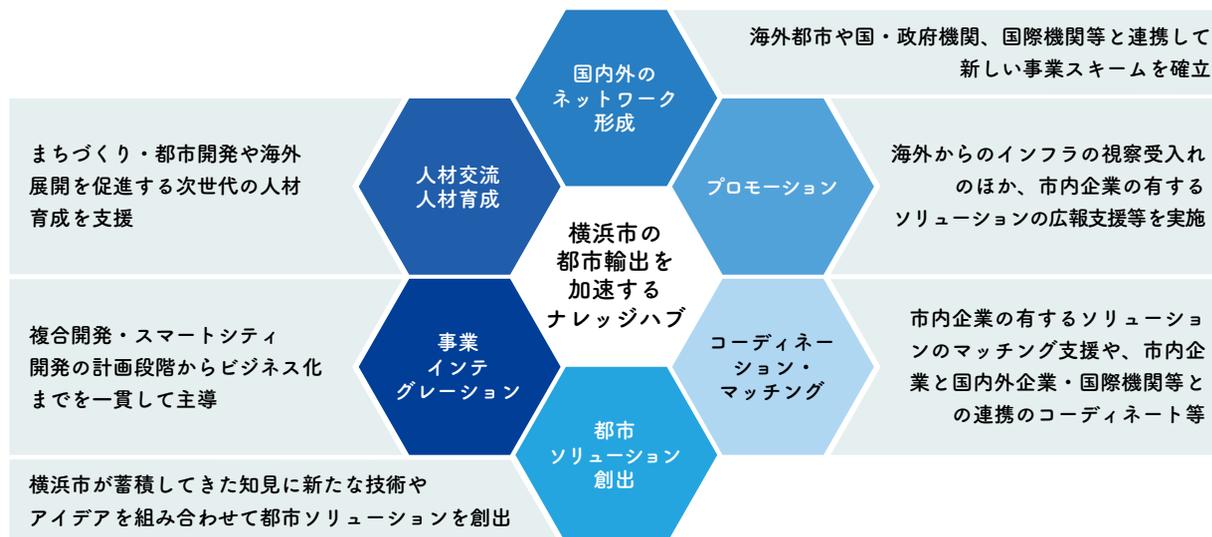
5. 横浜ブランドの価値向上とその活用による国際的ネットワークの構築

- ・ アジア・スマートシティ会議等を活用した国際社会への発信
- ・ 積極的な情報発信、国際的な受賞等による「横浜」の知名度向上及びブランド力強化
- ・ アジア・スマートシティ・アライアンスを通じた継続的な都市間連携

GALERIO の役割紹介

GALERIO で行う活動

GALERIO では、Y-PORT 事業の推進を目的に、「国内外のネットワーク活用」、「プロモーション」、「コーディネーション・マッチング」、「都市ソリューション創出」、「事業インテグレーション」、「人材交流・人材育成」の6つの活動を行います。



事業インテグレーション

- 一貫した都市開発支援を必要とする海外開発事業者とのコミュニケーションをとるためのイベント・会議の開催など



都市ソリューション輸出

- 横浜市、横浜市内企業、横浜市内機関のコラボレーションによるワークショップの開催など



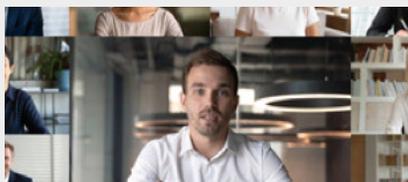
コーディネーション・マッチング

- バーチャル環境を用いた海外事業者とのマッチングイベントや商談の開催
- 海外企業／組織の訪日時におけるコミュニケーション空間としての活用など



人材交流・人材育成

- 大学機関などによる学生を対象としたまちづくり・都市開発関連ワークショップの開催
- 大学機関と市内組織の連携によるワークショップの開催など



国内外のネットワーク形成

- 連携先企業や組織との新規事業構想ワークショップの開催など



プロモーション

- 海外企業／組織の訪日時の視察先の一つとしての利用
- 市内企業ソリューションの海外展開を促進するための国際会議・ワークショップ等の開催など

GALERIO のスペース紹介

GALERIO の空間構成

GALERIO は、会議・セミナー・ワークショップゾーン、事業創造ゾーン、Web ミーティングゾーンの3つのゾーンから構成されます。ファシリティとしてハイエンドプロジェクタやスピーカー、タッチディスプレイ型の大型ホワイトボード、大型モニター、様々な会議・執務スペース等を備え、多くは可動式であるため、空間として多様な用途に対応可能です。



会議・セミナー・ワークショップゾーン

プロジェクターや大型スクリーン、VR デバイスなどを完備した大規模会議スペース



事業構想ゾーン

他ゾーンとの組み合わせでフレキシブルな利用が可能な小規模スペース



ミーティング・執務ゾーン

360° カメラを完備した利便性の高い会議スペース



バーチャルドックヤードガーデン・赤レンガ倉庫前広場

ビジネスマッチングや国際会議に利用可能なバーチャルスペース



GALERIO のスペース紹介

会議・セミナー・ワークショップゾーン

GALERIO は、会議・セミナー・ワークショップゾーン、事業創造ゾーン、Web ミーティングゾーンの3つのゾーンから構成されます。ファシリティとしてハイエンドプロジェクタやスピーカー、タッチディスプレイ型の大型ホワイトボード、大型モニター、様々な会議・執務スペース等を備え、多くは可動式であるため、空間として多様な用途に対応可能です。

<利用イメージ>

1. 大規模なハイブリッド国際会議の開催

GALERIO のスペースとオンライン環境を組み合わせた国際会議の実施が可能です。国際会議の開催に不可欠な機材用スペースのための十分なスペースも確保ができます。横浜市では、アジア・スマートシティ会議（現地参加者約 50 名程度、オンライン参加者約 1,200 名）を実施しています。

2. ワークショップ

プロジェクターや演台を完備しており、本格的なワークショップの開催が可能です。また、VR ヘッドセットも完備しているため、バーチャルリアリティを活用した会議やワークショップも可能です。他のゾーンも活用し、複数のグループに別れたディスカッションなども可能となっています。



100

収容人数



プロジェクター
2機



86 インチ型大型スクリーン
2機*



無線マイク 2機
有線マイク 4機



中継用ビデオカメラ
ビデオカメラ用三脚
2セット



VR ヘッドセット
(Oculus Quest 2)
2機



GALERIO のスペース紹介

事業創造ゾーン

開放的な空間で、小規模の打ち合わせやディスカッションが実施可能な空間となっています。手書きで書き込みのできる大型スクリーンとスタンディング型のスツールにより、よりリラックスしたディスカッションができます。

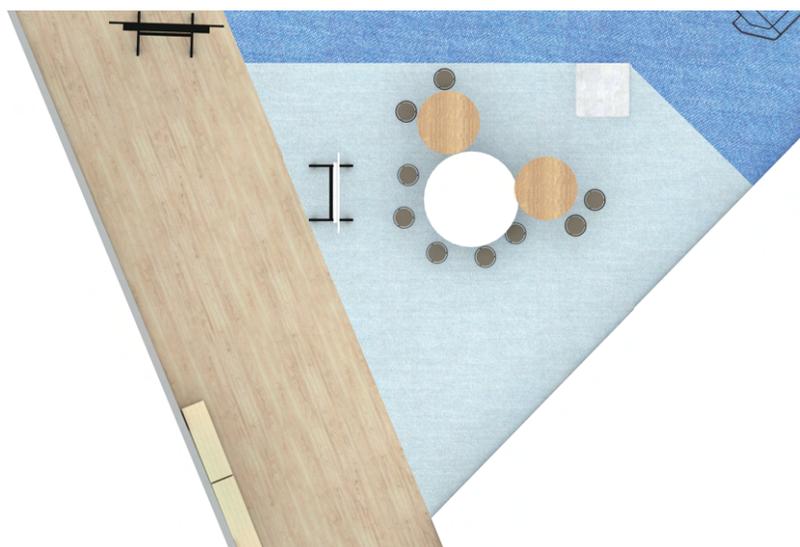
<利用イメージ>

1. 小規模なディスカッションの開催

大型スクリーンやホワイトボードを活用した小規模なディスカッションの開催が可能です。会議・セミナー・ワークショップゾーンと組み合わせ利用することで、イベント等を同時多発的・円滑に開催することができます。

2. 情報提供スペースとしての利用

会議・セミナー・ワークショップゾーンなどでイベントを実施しながら、本エリアを情報提供スペースとして活用することが可能です。印刷物やソフトコンテンツの閲覧スペースとして効果的にご利用いただけます。



15

収容人数



360°対応ウェブカメラ



86型大型スクリーン
1機



手書き対応
ホワイトボード
2枚



新型コロナ対策に
対応した環境



GALERIO のスペース紹介

Web ミーティング・執務ゾーン

本ゾーンでは大型スクリーンを活用したウェブ会議が可能です。画面共有はもちろん、現地参加者も大きなスクリーンを用いたディスカッションが可能です。広いテーブルが設置されているため、新型コロナを考慮し、参加者同士が間隔をとってお座りいただくことも可能です。ゾーン脇の執務ゾーンも含め、最大約 20 名程度の会議が可能です。

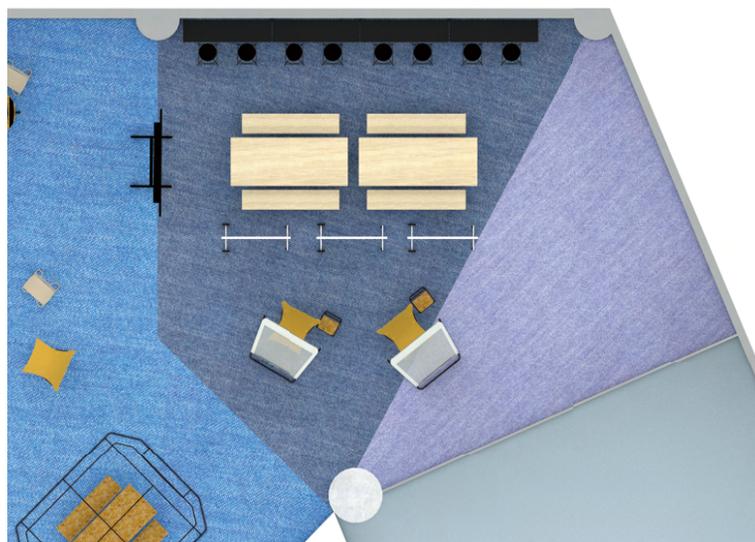
<利用イメージ>

1. ウェブ会議・小規模国際会議の開催

出席者全員の顔を配信可能な 360° 対応ウェブカメラを導入しているため、質の高いコミュニケーションが必要となるウェブ会議や小規模な国際会議を実施することが可能です。

2. 国際会議のバックヤードエリア利用

会議・セミナー・ワークショップゾーンで開催している国際会議をサポートするバックヤードエリアとして利用することが可能です。国際会議には必須である通訳専用エリアとしても十分な広さがあります。また、パブリックビューイングエリアとしてプロジェクターと座席を利用することも可能です。



12

大型テーブルの
対応可能人数

8

執務ゾーンの
対応可能人数



360°対応ウェブカメラ



86 型大型スクリーン
1 機



新型コロナ対策に
対応した環境



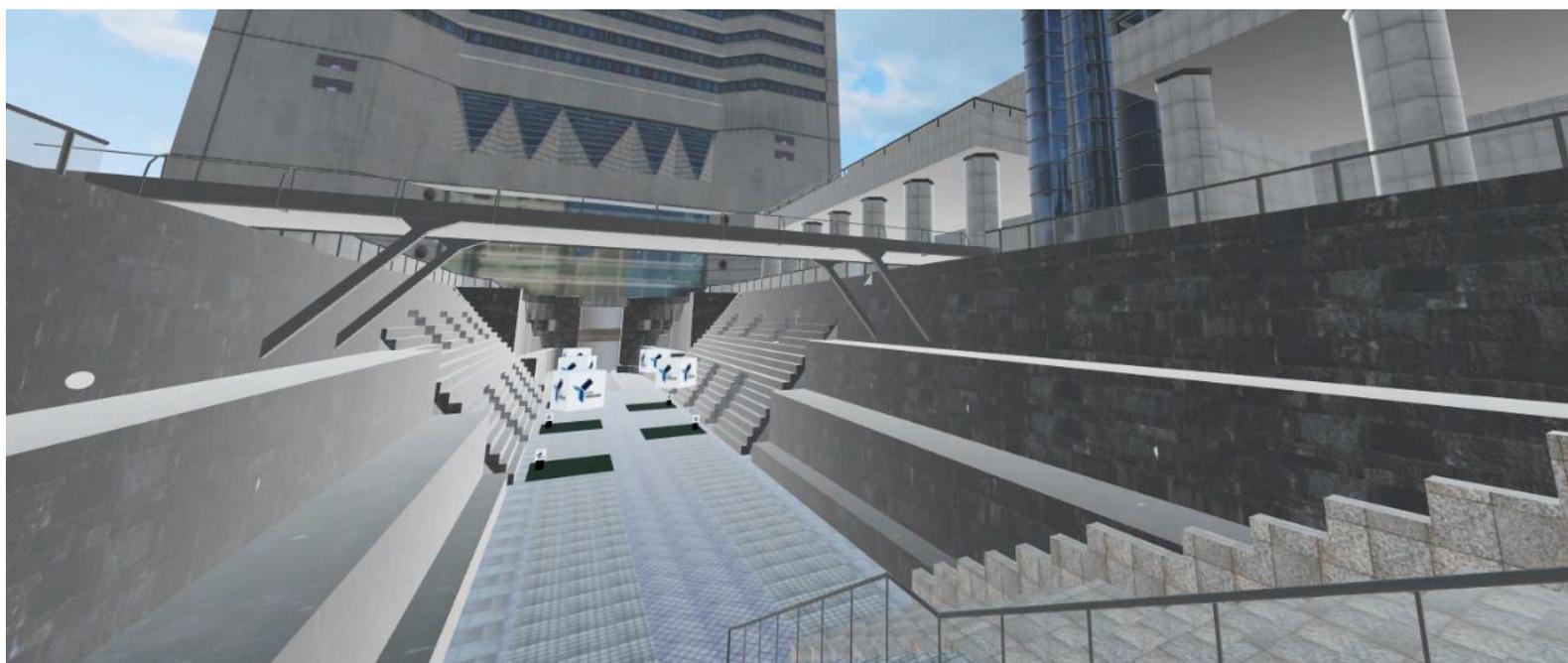
間仕切りによる
プライバシーの確保



GALERIO のスペース紹介

バーチャルドックヤードガーデン バーチャル赤レンガ倉庫前広場

バーチャル上のコミュニケーションスペースとして、みなとみらいエリアの観光名所であるドックヤードガーデン及び赤レンガ倉庫前広場を完備しています。特定のソフトウェアをインストールする必要なく、ブラウザ入室可能なバーチャルスペースとして整備をしており、様々な会議・マッチングイベントにて活用できる空間として整備しています。



40

収容人数



PC 対応
(インストール不要)



バーチャル環境内で
動画の掲載が可能



バーチャル環境内で
PDFの掲載が可能



バーチャル環境内で
ファイルの共有が可能



世界の誰とでも
参加可能



GALERIO のスペース紹介 GALERIO の活用実績



アジア・スマートシティ会議

アジア諸都市、政府機関、国際機関、学術機関及び民間企業等の代表者が一堂に会する国際会議アジア・スマートシティ会議を、GALERIO全体を利用し、現地とオンラインのハイブリッド形式で開催しています。合計約1,200名の参加者数となる大規模国際会議を実施しています。

参考リンク：<https://yport.city.yokohama.lg.jp/promotion/ascc>



Y-PORT ワークショップ

新興国等での都市インフラ事業への企業の海外展開を促進するため、横浜市と民間企業・大学・NPO及び、国や公的機関との情報交換・意見交換を行う場として開催するものです。GALERIOオープン以降、ハイブリッド形式での活用を実施しています。

参考リンク：<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kokusaikoryu/yport/kigyo/yportworkshop.html>



バーチャルネットワーキング

アジア・スマートシティ会議では横浜市が整備したバーチャルリアリティ環境を用いたネットワーキングイベントを開催しています。

参考リンク：<https://www.youtube.com/watch?v=EkoKGuv4XEw>



その他ワークショップ

横浜市では、ダナン都市開発フォーラムや外部機関を交えた検討会・ワークショップなどをGALERIOにて開催しています。様々な規模・形式のイベントで利便性の高い施設空間を提供できます。

アクセス



〒220-0012 横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号 横浜国際協力センター6階

TEL: 045-671-4393 FAX: 045-664-7145

<https://yport.city.yokohama.lg.jp/>

